

市の計画（素案）等についての市民意見の概要と市の考え方について公表します

市では、1月7日～21日の間に次の計画（素案）等について、市民意見の募集（パブリックコメント）を行い、ご意見をいただきました。ご意見の概要と市の考え方は次のとおりです。

▼福生市人口ビジョン及び総合戦略（素案）

【意見提出者】1人（1項目）

【問合せ】企画調整課企画調整担当 ☎ 551・1528

市民意見の概要	意見に対する市の考え方
子育て世代の流出を防ぐ、そして、子育て世代の家族に移転してきてもらうためには、小・中学校の学力目標を数値化する必要がある。 また、学力を向上させるためには、乳幼児期からの教育が大切ではないか。	学力の向上については、都内すべての学校において最重要課題であり、学力目標の数値化については、その根拠についてさまざまな観点から検討が必要であること、また、保育園ではそれぞれが定める方針や課程に基づいて保育が行われており、保育理論の採用や実践についても、総合戦略に盛り込むことはそぐわないと考えます。

▼第5期福生市地域福祉計画の中間答申

【意見提出者】1人（3項目）

【問合せ】社会福祉課庶務・福祉計画担当 ☎ 551・1522

市民意見の概要	意見に対する市の考え方
「見守りネットワークづくりについて」 『ひとり暮らし高齢者などを地域で見守るネットワークづくりを進め、確立します。』とあるが、具体的にはどうするのか。より具体的な事例あるいは先進自治体のモデル事業等を参考に提示しないと、現状打破はできないと考える。	地域における高齢者等の見守りは、東京都水道局との見守り協定の締結や、町会・自治会等への回覧などを実施しています。平成28年度からは、見守りをお願いするポスター等を作製し、市内施設や、関係事業所、コンビニ等にポスター掲示を依頼します。 また、地域包括支援センターだよりを作成するなど、さまざまな取り組みを実施する予定です。
「地域ケア会議の開催について」 地域ケア会議について、情報の共有化を図る必要がある。地域に何人の要介護者がいるか、何人の独居高齢者がいるかなど具体的な情報の中で、国や都、自治体の支援メニューがあるのかなどを示してこそ、地域に合った「住み慣れた地域で暮らし続ける体制づくり」ができるのではないかと。	介護福祉課が主催する全体の地域ケア会議は、平成27年度は3回開催しています。 また、地域包括支援センターが開催する全体の地域ケア会議は、全体の会議が3回、市内を3地区に区分した地域別の地域ケア会議は12回開催しており、3月までにあと3回開催する予定です。全体の地域ケア会議の内容は、今後市ホームページ等で公開していく予定です。
「認知症カフェの開催について」 認知症カフェ（オレンジカフェ）の重要性をどこまで地域、町会、自治会単位にまで落とし込めるか。 そのためには認知症の理解を深める認知症サポーターなどの人的拡大、軽度認知障害の早期発見のための測定機器の配置など、具体的な取り組みを示さないと観念論で終わってしまう。	オレンジカフェは、社会福祉協議会が福祉センターで2か月に1回開催しています。参加人数も増加しており、設置の希望や増設の必要性を見ながら判断していきたいと考えています。認知症サポーターの拡大につきましても取り組んでいきます。

▼福生市耐震改修促進計画（素案）

【意見提出者】1人（1項目）

【問合せ】まちづくり計画課計画グループ ☎ 551・1952

市民意見の概要	意見に対する市の考え方
一般住宅の立川断層帯の地震における全壊棟数は1,360棟、延焼は1,406棟に及ぶ。また、旧建築基準法による住宅が8,128棟となっている。 これらの数字から、耐震改修または建て替えに対して促進を助長する政策が必要であるが、福生市の耐震改修に対する一棟50万円の限度額、空き家除却費上限50万円というのは所有者にとって魅力的な政策になっているのか、検証をする必要性はないのか。	耐震改修は、原則、建物所有者の責任において行うこととなります。 福生市の耐震改修に対する助成金額は、近隣市に比べても遜色のないものであり、かつ、補助率を定めない定額による助成としています。また、空き家除却事業については、平成26年度から開始した、他市にはない独自の取り組みとなっています。 今後も耐震診断・耐震改修の重要性について普及・啓発に力を入れるとともに、実施状況等について適切に把握・評価していきたいと考えています。

▼第2期福生市生涯学習推進計画（修正後期）（平成28年度～平成32年度）（素案）

【意見提出者】1人（1項目）

【問合せ】生涯学習推進課生涯学習推進係 ☎ 551・1950

市民意見の概要	意見に対する市の考え方
福生市教育委員会は「ふっさっ子スタンダード」を定めて画期的な取り組みをしているが、より地域の教育力の向上を目指して、周知、啓発活動を重点的に行うことが大切ではないか。 児童生徒が家族以外の年代を超えた集団の中で社会勉強し、さまざまなルールを身に付けられるよう、個々のプログラムではなく有機的に関連させることも大事であると考えます。	「ふっさっ子スタンダード」については、積極的に推進し、また広く広報活動を行い、そのPRに努めていきます。 また、異世代の交流の中で、さまざまなルールを身に付けることに関しては、地域の方がサポーターとなり、集団ルール等の社会性や自主性、協調性を身に付ける場として、「ふっさっ子の広場」を全小学校に開設し、放課後の活動の場としています。 このような場を通じ、今後も子どもたちが人間性豊かに成長していけるよう、事業の連携も視野に入れ諸施策を推進していきます。

▼福生市環境基本計画第2期中期実施計画（素案）

意見募集の結果、計画（素案）に対するご意見はありませんでした。

【問合せ】環境課環境係 ☎ 551・1718

▼福生市男女共同参画行動計画（第5期）（素案）

意見募集の結果、計画（素案）に対するご意見はありませんでした。

【問合せ】協働推進課 ☎ 551・1590

▼第3期福生市バリアフリー推進計画（素案）

意見募集の結果、計画（素案）に対するご意見はありませんでした。

【問合せ】社会福祉課庶務・福祉計画担当 ☎ 551・1522

▼第三次福生市子ども読書活動推進計画（平成28年度～32年度）（素案）

意見募集の結果、計画（素案）に対するご意見はありませんでした。

【問合せ】中央図書館 ☎ 553・3111